

香川県教育委員会事務局
保健体育課長 殿

学 校 名 三豊市立勝間小学校
学校長名 加 治 祥 二

令和2年度 オリンピック・パラリンピック教育実施報告書

I 事業実施前の課題

3年間の継続事業で、子ども達の東京オリンピック・パラリンピックに対する意識の高まりは見られたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東京オリンピック・パラリンピックの開催が確定していないので、これまで以上の意識の高まりを求めることが難しい。

また、オリンピック・パラリンピック教育推進に対する教師の意識の違いによって、学年での取り組みに差が見られる。少しでも意識を高めるためには、体力づくりを中心に学校全体が盛り上がるような取り組みが必要である。

II 具体的な取り組み

1 活動名（事前学習）：オリンピック・パラリンピックコーナーの設置

(1) 日 時：令和2年8月20日（木）～

(2) 対象者：全校児童 156名

(3) 活動概要及び工夫点

全校児童に「オリンピック・パラリンピック」についての知識を豊かにするために、「オリンピック・パラリンピックコーナー」を設けた。

(4) 活動の様子



【オリンピック・パラリンピックコーナー】

2 活動名（中心学習）：ボッチャを体験しよう

(1) 日 時：令和2年9月18日（金）10：00～12：00

(2) 対象者：第5・6学年 45名

(3) 活動概要及び工夫点（総合的な学習の時間で実施）

体育の時間を利用して、6年生を中心に、ボッチャの体験学習を行った。体験活動を行う前に、特別の教科道徳において「I'mPOSSIBLE」を使って、パラリンピックの価値と障がい者が頑張る姿の素晴らしさについての理解を深めた。また、競技の進め方やルール、作戦等については総合的な学習の時間を利用して理解させた。

(4) 活動の様子



【ボッチャ体験をしているところ】

3 活動名 「あすチャレ!スクール」開催

(1) 日 時：令和2年9月18日（金）10：30～12：00

(2) 対象者：第5・3学年 45名

(3) 活動概要及び工夫点（総合的な学習の時間で実施）

日本財団パラリンピックサポート財団が主催する「あすチャレ!スクール」事業を行った。シドニーパラリンピック男子車椅子バスケットボール日本代表キャプテン 根本 慎志 氏を招き、車椅子バスケット体験や講話を聞き、パラリンピックや障がい者への理解を深めた。

(4) 活動の様子



【根本氏の講演の様子】



【デモンストレーションの様子】



【車椅子バスケットを体験しているところ】

4 「OEN-応援フラッグ」プロジェクト応募

(1) 日 時：令和2年10月9日（金）～10月30日（金）

(2) 対象者：全校生 156名

(3) 活動概要及び工夫点（総合的な学習・休み時間等で実施）

日本財団パラリンピックサポートセンターが主催する、「OEN-応援フラッグ」プロジェクトに応募した。2020東京パラリンピックの選手への応援メッセージの寄せ書きを色別で作成し、パラリンピックへの関心を高めた。



【色別で作成した応援フラッグを持って記念撮影をしているところ】

5 色別対抗校内マラソン大会

(1) 日 時：令和2年12月4日（金）13：00～15：00

(2) 対象者：全校生 156名

(3) 活動概要及び工夫点（学校行事の時間で実施）

「赤・白・青・黄」の4色対抗で得点を競い合うことで、力を合わせることの大切さや競い合うことの楽しさなどを味わせた





【全員完走したのでバンザイの記念写真】

6 第3回マラソン世界記録に挑戦

(1) 日 時：令和2年12月21日(月) 8:30~11:30

(2) 対象者：全校生 156名 教職員20名 下高瀬小学校児童 193名

(3) 活動概要及び工夫点(学校行事の時間で実施)

全校生及び全教職員がバトンをつないで、マラソン世界記録(2時間1分39秒)に挑戦した。結果は、2時間27分59秒で目標達成とはならなかった。しかし、本年度は下高瀬小学校(2時間20分11秒)に呼びかけ、同時刻にスタートしお互いのタイムを競い合い、昨年以上の盛り上がりがあった。また、児童会を中心に、事前にビデオレターをやりとりするなど交流が深められた



【スタートしたところ】



【6年生がバトンをつないでいるところ】



【教職員が参加しているところ】



【ゴールしたところ】



【下高瀬小学校とテレビ会議システムを使って交流しているところ】



【ゴール後、メディアのインタビューに答える児童会長】



【完走を祝って参加者全員でバンザイの記念写真を撮っているところ】

7 オリ・パラ新聞作成

- (1) 日時：令和2年9月1日（火）～9月25日（金）
- (2) 対象者：6年生 23名
- (3) 活動概要及び工夫点（総合的な学習の時間で実施）

オリンピック・パラリンピックについて、学校図書館にある「オリンピック・パラリンピックコーナー」にある資料やインターネットで調べた内容について新聞にまとめ、オリ・パラ新聞・レポートコンテストに応募した。



【応募作品を教室に掲示しているところ】

Ⅲ 成果と課題

- 本年度も、「オリンピック・パラリンピック教育」の5つの視点、「運動・健康」「国際理解」「おもてなし」「ユニバーサルマナー」「こころざし」から全ての教育活動を見直し、児童のオリンピック・パラリンピックに対する意識を高めることができた。
- 本年度の「マラソン世界記録に挑戦」は、下高瀬小学校と共同実施したことで、児童の交流を深めるだけでなく、オリンピック・パラリンピック教育を校外にも広めることができた。そのうえ、お互いが競い合うことで、全校生が一丸となって練習にも意欲的に取り組み、これまで以上に達成感を味わうとともに勝間小学校の団結力を高めることができた。
- △ 新型コロナウイルス感染症拡大のため、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定していないので、意識の高まりがあまり感じられないのが現状である。
- △ 縦割り活動の見直しを行ったが、年間を通して競い合い、切磋琢磨することでそれぞれが成長していることの実感が味わえていない。
- △ オリンピック・パラリンピックに関する調べ活動を行った学年に偏りがあった。
- △ 今年度の年間計画を振り返り、もう一度、全ての教育活動をオリンピック・パラリンピック教育の視点からの見直しを図る。
- △ 色別対抗の縦割り活動の内容の見直し、年間を通して競い合える活動にする。
- △ 各教科の学習においても、オリンピック・パラリンピックに関係づけて指導を行う。